

令和3年度 第2回 兵庫医科大学病院医療安全業務監査委員会報告書

医療安全業務監査委員会兵庫医科大学病院医療安全業務監査委員会規程第2条に基づき監査を実施しましたので、その方法及び結果につき以下のとおり報告します。

1. 監査方法

兵庫医科大学病院における医療安全に係る業務の状況について、病院管理者等からの聴取及び当委員会から事前提示を求めた資料を閲覧する等の方法によって監査を実施しました。

- ・日 時：令和4年3月3日（木）16時から17時
- ・場所：兵庫医科大学第1会議室（10号館2階）
- ・委員長：宮崎 浩彰（関西医科大学 理事長特命教授（医療安全担当））
- ・委員：亀井 尚也（かけはし法律事務所 弁護士）
辰馬 勝（学校法人 関西学院 評議員）

2. 監査実施項目

- （1）病院情報システム数値書き換え事案について
- （2）業務状況報告
 - ① 前回の業務監査委員会の提言に対する回答
 - ② 医療安全管理部年間業務状況報告（医療安全管理責任者の業務報告も含む）
 - ③ 医療の質・安全審議委員会報告
 - ④ 医薬品安全管理責任者業務状況報告
 - ⑤ 医療機器安全管理責任者業務状況報告
 - ⑥ 医療放射線安全管理者業務状況報告
- （3）病院情報システムに関連した医療事故防止対策

3. 監査結果

- （1）病院情報システム数値書き換え事案について

本事案発生から過去1年間の電子カルテデータを遡及的に調査され、本件以外に同様の事案がなかったこと、また、現在も修正履歴を抜き打ちでチェックするなど、監視を継続されていることを確認しました。

再発防止策では、現場スタッフによる書き換えができないシステム対策が講じられたこと、また、現場に即した倫理講習が実施され、今後も継続的に開催する計画であることを確認しました。加えて、部門において職員が業務上の懸念を表出しやすいように、リーダー研修やストレスマネジメントなど心理的安全性の醸成に注力されていることは高く評価できます。

以上から、本委員会は病院情報システム数値書き換え事案に対する病院の対応は適正と判断しました。再発防止の取組みが確実に実施されることを期待します。

(2) 業務状況報告

前回の本委員会で要望していた、プレアボイド報告より得られた知見を基にした実践と効果については、関連委員会への報告や講演会ならびに広報誌による周知活動が行われ、受講状況が記録されていることを確認しました。今後、プレアボイド報告のフィードバックにより、同様のインシデントが減少することを期待します。

また、医療安全管理責任者ならびに医療安全管理部の業務については、部署ラウンドやモニタリングなどの改善活動や講習等の報告があり、適切に実践されていることを確認しました。特に国内で繰り返し報道されている診断報告書の見落防止対策では、新たにシステム対策を講じられるとともに、診療科を超えた総合診療の考え方に立って、各部署のカンファレンスで画像や報告書の確認が行われるなど、改善活動が現場にも浸透していることを確認できました。患者安全上の大きな課題であり、継続的な取り組みに期待します。

医療の質・安全審議委員会では、医療安全管理に関わる事例が検討、評価されていることを確認しました。

医薬品安全管理責任者の業務については、医薬品使用状況調査結果の詳細な確認や各部門のセイフティーマネージャーも加わって医薬品安全使用のための手順書が遵守されているか確認するなど、コロナ禍による委員会の開催減少に対応されていました。

医療機器安全管理責任者の業務については、医療機器の保守点検が計画に従って実行され、必要な研修も対象者全員に行われていることを確認しました。

(3) 病院情報システムに関連した医療事故防止対策

情報システムや医療情報に関する安全管理に関する規程や手順が整備されており、パソコンの盗難やなりすまし、情報漏洩を防ぐ複数の仕組みがあることを確認しました。

一方、電子カルテを使用するスタッフの一部で、個人情報保護に関する誓約書や講習受講が確認できない状況が認められました。これについては、次回の本委員会で改善に向けての作業状況を報告してください。

4. まとめ

医療安全管理に係る業務について監査を実施した結果、適正な管理が行われ、医療安全管理体制が良好に機能していることが確認できました。当委員会としては、新たに取り組まれる改善活動を検証するとともに医療安全文化が継続的に醸成されることを期待しています。

令和4年3月22日

兵庫医科大学病院医療安全業務監査委員会

委員長 宮崎 浩彰

委員 亀井 尚也

委員 辰馬 勝